

# 記入例

申請書提出の際は、住所、氏名、寄附金額等に間違い、記入漏れがないようにしてください。(既に印字されている場合等で、記載漏れがある場合は記入を、訂正すべき場所があれば二重線で抹消し、訂正印を押印後、改めて記入してください。)

令和**年寄附分		市町村民税 道府県民税	寄附金税額控除に係る申告特例申請	
令和**年○月○日 愛知県犬山市長 殿	<b>記入日</b>		整理番号	*****
住所	〒○○○-×××× 愛知県○市△△丁目××番地○×号室	フリガナ	イヌヤマ タロウ	
電話番号	090-○○○○-△△△△	氏名	犬山 太郎	
		個人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2	
		生年月日	平成 ○年△月×日	

お名前(名義)の変更はできません

第五十五号の五様式(附則第二条の四関係)

「個人番号」欄には、あなたの個人番号(個人番号カードに記載されている)を記載してください。あなたが支出した地方団体に対する寄附金の特例(以下「申告の特例」という。)の適用(注1)として記載した内容に変更があった場合には、申告の特例を受けるための申請は、①及び②に該当する場合のみです。下の欄の口をチェックをしてください。

太枠内の項目(住所、氏名(フリガナ)、個人番号、電話番号、生年月日)を全て記入してください。(既に入力済みの場合は、空白箇所のみ記入してください)

※注1 内容について、寄附した年の翌年の1月1日までに変更が生じた場合は、『申告特例申請事項変更届出書』の提出が必要です。  
 ※注2 個人番号の記入にあたって、個人番号確認書類及び本人確認書類が必要です。詳しくは裏面の『ワンストップ特例申請に必要な書類について』をご確認ください。

空欄の場合は、寄附受領証明書に記載されている入金日をご記入ください。

## 1. 当団体に対する寄附に関する事項

寄附年月日	寄附金額
令和**年 ○月 ×日	10,000 円

## 2. 申告の特例の適用に関する事項

申告の特例の適用を受けるための申請は、①及び②に該当する場合のみです。下の欄の口をチェックをしてください。

確定申告をされない方は、  
チェックを入れてください。

① 地方税法附則第7条第1項(第8項)に規定する申告特例対象寄附者である	<input checked="" type="checkbox"/>
② 地方税法附則第7条第2項(第9項)に規定する要件に該当する者である	<input checked="" type="checkbox"/>

①及び②に該当する場合のみワンストップ特例申請が可能です。

その年の寄附先が5自治体以内の方は、  
チェックを入れてください。  
(※寄附回数ではなく、寄附先の自治体数です)

(注) 地方税法附則第7条第2項(第9項)に規定する要件に該当する者とは、この申請を含め申告特例対象年の1月1日から12月31日の間に申告の特例の適用を受けるための申請を行う地方団体の長の数(5以下であると見込まれる者をいいます。)

(切り取らないでください。)

令和**年寄附分	市町村民税 道府県民税	寄附金税額控除に係る申告特例申請書受付書
住所	氏名	受付日付印
<p>受付書は返送しておりません 記入は不要です。</p>		愛知県犬山市

## 以下の場合には寄附金控除がされませんので、ご注意ください。

- ワンストップ特例申請書を提出せず、確定申告も行わなかった。
- ワンストップ特例申請書を提出したが、確定申告が必要となったため確定申告を行ったが、その際に寄附金税額控除の申告を行わなかった。

※ 申請した内容について、寄附した年の翌年の1月1日までに変更が生じた場合は、『申告特例申請事項変更届出書』の提出(寄附した年の翌年1月10日必着)が必要です。